

技術財団  
科学記念  
矢崎興

## 令和5年度「研究助成」 受領者など決定し贈呈

公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団はこのほど、令和5年度の「研究助成金」受領者15名・「矢崎学術賞」受賞者3名を決定し、都内で贈呈式を開催した。

同財団の「研究助成」は、「材料・デバイス」「環境・バイオサイエンス」「エネルギー・情報通信」の分野を対象領域とした。「一般研究助成」「奨励研究助成」「特定研究助成」の三つの助成制度。また、国際的な学会での研究発表や共同研究をする際の渡航費を支援する「国際交流援助」、過去



贈呈式の様子

は、奈良先端科学技術大学院大学から「研究助成」を受けた研究者の中から優れた業績をあげた研究者を表彰する「矢崎学術賞」がある。令和5年度の一般研究助成（200万円）で、アルゴリズムとアーキテクチャの協調最適化による学習型画像圧縮システムを始め10件が採択された。また、特定研究助成（1千万円）は該当がなかった。国際交流援助では10件を採択した。矢崎学術賞の功績賞

学院大学先端科学技術研究科教授の遠藤求（エンドウモトム）氏の「植物の光周性原理の解明とデンプン質バイオマス生産への応用」を始め5件が採択された。奨励研究助成（100万円、原則35歳以下の研究者が対象）

は、横浜国立大学大学院工学研究院准教授の孫鶴

は東京大学工学系研究科教授の長汐晃輔（ナガシオコウスケ）氏、奨励賞（若手研究者を対象）は、産業技術総合研究所 センシングシステム研究所 センター主任研究員の鈴木大地（スズキダイチ）氏、大阪大学大学院工学研究科准教授の星本陽一（ホシモトヨウイチ）氏。